



さいかい

2021.2
Vol.109
Winter



Contents

- ・日本作業療法学会に参加して
- ・【復活】お母さんOT
- ・【連載】達人Tell me
- ・研修会補助金事業報告
- ・【特別企画】わたしのところこんなことやってます
- ・県士会のツールを活用しよう！
- ・web開催だよ 第27回県学会！

発行元：一般社団法人長崎県作業療法士会 事務局

長崎市愛宕1-36-59 長崎医療技術専門学校内 代表 沖英一

企画・編集 | 長崎県作業療法士会 広報局

第54回 日本作業療法学会 報告

令和2年9月25日
～10月25日まで「作業の魅力・作業の力」を暮らしを支える作業療法士の効果」をテーマに日本作業療法学会が開催されました。作業療法学会が始まって以来初のWEB開催でもあったため、参加された士会員も多かったのではないのでしょうか？

今回は学会発表者および聴講者それぞれの立場からお話を聞くことができました。今後の学会および勉強会等の参考になればと思いますので、ぜひ一読ください。



今年の日本作業療法学会は新潟県で開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響でWEB学会に変更になりました。学会での発表が初めてだったことに加え、初めての形式での開催に戸惑いがありました。WEBで開催される事で開催地まで行かなくても、インターネットさえあれば、いつでも何処でも何処でも視聴が可能であるメリットがありました。また、今までの学会形式であれば、同じ時間帯にある講演などを全て聴講することは困難でしたが、WEBになることで全て聴講できることが大変良かったです。

しかし、発表者としては、あの学会会場独特のわくわく感やライブ感が味わえない事、また学会終了後の楽しみの一つである現地の観光や飲食が出来なかったことが少し残念な気持ちになりました。また、今までの学会会場でのポスター発表では、「これはどういう意味ですか？」や「どうなっているのですか？」など気になったポスターがあると足を止め、気軽に参加者同士が交流していました。

WEB開催のメリットとデメリットとは

今回のWEB学会でも質疑応答ができ、本当に良かったのですが、実際に相手の顔が見えず、文章だけのやりとりで何か寂しい印象を受けました。多くの講演や一般演題の発表などを聴講し、学会期間は1か月間もありましたが、あつという間に終わった感じがしました。

現在も新型コロナウイルス感染症の影響によって従来のような対面での研修会はありませんが、様々な方面でオンライン化が進んでいる為、WEB開催の研修会を活用して臨床に活かせる知識を増やしていきたいと考えています。また、そこで得た知識を日頃行っている臨床での作業療法へ活かし、介入による効果検証を行うて質を高めていけるように継続して臨床研究を続けたいと思います。



長崎リハビリテーション病院
下田 莉華子さん

9月25日～10月25日までの一ヶ月間、第54回日本作業療法学会が開催されました。今学会は新型コロナウイルスの流行拡大に伴い、初のWEB開催となりました。今まで何度か現地開催での学会へ参加していましたが、WEB学会を通して感じたこと、そして県学会実行委員での運営側の立場から感じたことなど、まとめてみたいと思います！

まず、聴講しての印象は、通常学会よりも多くの内容を聴講できるという、WEBならではの利点をしみじみ感じました。聴きたいと思う発表や講演の時間が重複していた場合、どちらか選択しなければいけませんでしたが、すべて聴けるとするのは非常にありがたさを感じます。また、自分のペースで参加できるなど融通が利き、動画を見直すこともできるため聞き逃しもなくなりません。ただ、臨場感や学会感の物足りなさ、そして質疑応答も全体的に少ない印象を受けました。私自身、今学会ではポスター発表をさせて頂ましたが、発表者として質疑応答が少ないことは物寂しく思います。あと、観光ができないのも、ほんの少し残念です(笑)

聴講者・発表者 そして県学会実行委員としての視点から



医療法人さざなみ 鈴木病院
林田 浩司さん

運営側としては、やはりWEBであっても活気ある学会、臨場感のある学会を目指したいと強く思いました。聴講はもちろんのこと、質疑や意見交換など互いに高め合っている環境も学会に必要なことだと思います！日本OT学会、そして県学会ともに初のWEB開催ということで新たな挑戦ではありますが、今後のベースとなるかもしれません。県学会も当初は録画配信だけの予定で、質疑の有無を検討した時期もありましたが、ライブ配信や質疑応答サイトの活用などが決定し、委員一同協力して準備を整えています。

最後に宣伝になりますが、来る令和3年2月15日(月)～3月14日(日)に長崎県作業療法学会が開催されます！！講演者、発表者の先生方や運営委員、そして参加者があつてこそ完成だと思いますので、皆で学会を完成・成功させましょう！

私の今！ 人生は、価値観を変え、 変化していくこと

復活企画
お母さんOT



長崎北病院 OT主任 武田芳子

1997年 国立療養所福岡東病院付属リハビリテーション学院卒業
作業療法士の免許取得 長崎北病院就職
(通所リハ、訪問看護ステーションでも勤務経験あり)
2003年 結婚 2007年長男出産
現在：夫（脊髄腫瘍の後遺症）、姑、長男（中1）の4人暮らし

日本ALS協会長崎県支部：会計
長崎県パーキンソン病患者と家族と支援者の会：監事

私にとって、結婚は、人生の大きな岐路でした。さらに、妊娠・出産・育児で生活が一変しました。（女性にとっては当たり前の事でしょうが・・・）仕事をしながら、幼少期の育児は、日々、無我夢中でした。なぜなら、夫は出張が多いこと、両親は他県で、誰にも頼ることができなかったからです。子供が夜泣きをすると、私自身も一緒に泣きたい気持ちになるし、子供が病気をすると勤務先の病院に休みの連絡をしないといけない。迷惑をかけている罪悪感を感じ、このまま、仕事を続けていいのだろうか？と疑問の日々でした。しかし、「この子の母は自分しかない。仕事も子育ても頑張る！」と思い、力を振り絞ってやってきました。2012年、夫が、「脊髄腫瘍」との診断を受け、慶応大学病院で大手術を受けたり、2019年、姑と同居となったり、子供は中学生になって、思春期真っ只中のサッカー少年になるなど、日々、変化してきました。

2020年は、新型コロナウイルス感染症が流行し、世界中が混乱しています。特に医療・福祉職種は、感染予防のため、外出制限や会食禁止など厳しいものです。私自身、コロナショックで辛い時期が続いています。さらに強く感じたことは、「**価値観を変えていくこと！**」でした。OTが得意とする思考・感情です。「**ありのままを受け入れ、今できることを楽しむこと！**」コロナ禍の中、ウクレレを始め、9月5日の子供の誕生日から、ウクレレと共に「誕生日Songs」を届けています。誰にとっても誕生日は、両親や生きていることに感謝しお祝いする「特別な記念日！」私は、子供を産んでより強く思うようになりました。当院の患者さんも面会禁止で、不安や寂しさが募っています。そこで、少しでも元気で前向きになれるよう、スタッフと一緒に患者さんを囲んでお祝いをしています。ウクレレの音色は、心に響き癒やしてくれます♪。これからも患者さん一人一人が笑顔で幸せになれるよう、また、子供の健やかな成長を願い、応援しながら、母・妻・嫁・女性としての人生を歩んでいきたいです。



長崎作業支援・技術研究会

2020年1月から長尾哲男先生をアドバイザーとして、長崎作業・支援技術研究会（SIG）の事務局を長崎北病院に変更し活動再開しています。各病院や施設紹介を始め、症例を通して、OTプログラムや支援方法について検討しています。目からウロコ的なOTアプローチ方法や包括的なOTの視点を学ぶことができますので、若手OTには、スキルアップのために参加してほしいと思います。（ZOOMでの研修会を月1回、90分開催。詳しくは、Fネット等で！）

当院の参加風景



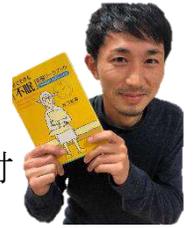
高齢者は遅寝早起き

～認知行動療法のエッセンスを添えて～

医療法人仁祐会 小鳥居諫早病院

杉村

今回の達人!



日本人の約5人に1人は不眠の症状に悩まされています。

不眠には、入眠障害・中途覚醒・熟眠障害・早朝覚醒など年代によりその特徴がありますが、高齢者はいずれも高頻度で現れやすくなります。これらは、日中の覚醒レベルの低下を招き、身体リハの阻害因子や生活障害に繋がっていると指摘されています。日本では薬物療法が一般的ですが、非薬物療法も効果的とされ、当院の外来では不眠の認知行動療法を実施しています。

不眠の認知行動療法は「習慣をいかに直すか」ということがポイントで、この「習慣」とは、生活習慣だけでなく日常のふるまい方や考え方の習慣を含むものです。

今回は、高齢者（認知症を除く）の不眠に焦点を当て、認知行動療法のエッセンスを加えた臨床でも使える方法を示したいと思います。

高齢者の睡眠の特徴と睡眠時間

まず高齢者がどのような睡眠リズムをとるのか理解しておく必要があります。Aさん（70歳）を例に話を進めます。Aさんは「21時になった」と眠気がないにも関わらず、寝床に入り眠気が来るのを待つ習慣があります。一度は寝付くことができましたが途中尿意で起きその後寝付けず、やっと眠れたとしても、早い時間（5時）に起きてしまい6時までゴロゴロ...「はあ、眠った感じがしない」と寝床を出ます。Aさんは寝床に9時間いたこととなります。一般的に寝床にいる時間が長くなると睡眠の質は悪くなることが知られています。また、適正睡眠時間は加齢とともに短くなり、25歳で約7時間、45歳で6.5時間、65歳では6時間といわれています（図1）。Aさんは6時間の睡眠時間でいいにも関わらず、3時間ほど寝床でゴロゴロ起きていたわけです。それでは、熟眠感も得られず、睡眠の質も悪くなります。

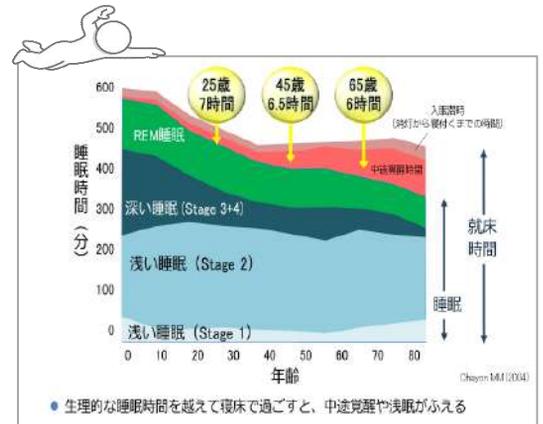


図1：睡眠時間と年齢

OTとしてできること

では、Aさんにはどのような不眠の認知行動療法的アドバイスをすべきなのでしょうか。それは、**具体的な寝床に入る時間を提示し、眠れないときは寝床から出るように伝え、「寝床＝睡眠の場所」と考え方を強化すること**（図2）です。適正睡眠時間に合わせて『0時に寝床に入り、6時に寝床から出ましょう』『目が覚めて眠くないなら寝床から出ましょう』といった感じでしょうか。ただ、この言葉だけを伝えてもAさんは0時まで起きていられるはずがないのは簡単に予想できます。今までよりも3時間も寝床に行けないからです。

ここからが生活を支援するOTの腕の見せ所！！

この3時間起きていられるような具体的な方法を一緒に考えてあげましょう。TVを見るから始まり、趣味の囲碁、あえて家事を残してこの時間に行うのもいいでしょう、極めつけは濡れタオルで顔を拭く...そして、途中起きた時に寝床から出たからの過ごし方も一緒に考えてみましょう。具体的な方法を考えることで、Aさんの夜の過ごし方は改善していき、不眠は改善していくでしょう。

簡単に言えば、**高齢者は『遅寝早起き』をしてください**ということです。これは、高齢者に対するものなので悪しからず...ご理解いただけましたでしょうか？

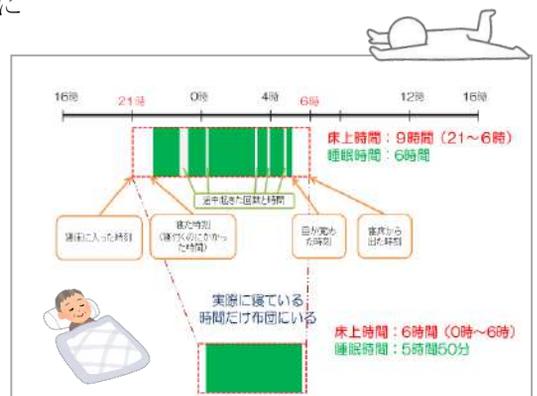


図2：不眠の認知行動療法のイメージ



睡眠は年代や疾患により対処の仕方は異なります。不眠の認知行動療法について少しだけ列挙しましたが、他にも入浴や運動などの身体加熱、日中の過ごし方や光と体内時計などなど対処法は様々です。興味がある人は調べてくださいね！

長崎県作業療法士会 研修会等補助金事業報告

毎年、長崎県作業療法士会では研修会等補助金事業に申請のあった研修会に対し、学術局の審査、理事会の承認を経て、補助金を支出しています。補助金事業に関心がある方は学術局へお問い合わせください。

今回はR2年度補助金事業に認定された研修会の1つ、NHL（県北ハンドセラピー研究会）の研修会から実施報告をしていただきます！

NHL研修会

『運動器疾患の拘縮と疼痛のメカニズムと治療戦略』

沖田実先生に **疼痛と拘縮の必勝法**を学びました

- #1, 疼痛のメカニズムと治療戦略 R2年12月13日（日）
- #2, 拘縮のメカニズムと治療戦略 R2年12月19日（土）



沖田実先生にご教授して頂きました

長崎大学生命医科学域、理学療法学教授の沖田実先生に運動器障害のメカニズムと治療戦略というテーマで疼痛と拘縮を中心にご教授して頂きました。ZOOMを使用したオンラインセミナーでありましたが、全国のセラピストより延べ150名の参加応募がありました。参加者からは時間が足りないぐらい多数の質問もあり、大いに盛り上がった研修会となりました。



疼痛のメカニズムと治療戦略

急性痛と慢性疼痛の発生メカニズムと治療戦略、術後早期の運動介入効果などの内容でした。慢性疼痛に対応できないセラピストが増えている現状、慢性疼痛に繋がらないように急性痛からマネジメントを行う重要性を痛感しました。また、疼痛の評価を行う際、身体面の評価に加え、認知面や対象者の生活背景を考慮してアセスメントを行なっているかどうか、自分の普段の臨床評価を見つめ直す良い機会となりました。健常者より患者様の方が疼痛を感じやすく、身体機能面、認知面において疼痛が及ぼす影響はたくさんあります。その疼痛に対しセラピストがどう治療を行い、改善していくかは今後の患者様の生活において大きく左右される事ですね。

拘縮のメカニズムと治療戦略

臨床における拘縮の実態、皮膚性拘縮や筋性拘縮など、拘縮を起こす組織の病態をそれぞれ詳しく、丁寧に教えて頂きました。拘縮の病態がわかると治療戦略の幅が広がります。拘縮を起こしている原因を把握し、ダイレクトに治療をしていく重要性を再認識する事ができました。また、終末期における拘縮対策としてモデリングとなる施設の紹介をして頂きました。『美しい姿で最期を迎えていただく』ため、多職種とうまく連携をとり、チームアプローチを行っている実態を教えてください、考える事が多くありました。私たちセラピストが患者様に対し何が出来るのか。課せられた責任はとても重大ですね。

おわりに

昨年、コロナ禍で当研究会の活動がままならない中、長崎県作業療法士会の助成金やZOOM PROのレンタルを知りました。この度、長崎県作業療法士会の助成金の協力があったおかげで、このような研修会が開催できました。大変感謝しております。未だにコロナが終息する気配がありませんが、当研究会は長崎県士会員をはじめ全国のセラピストが元気になれる企画や情報配信が続けられたら幸いです。今後とも当研究会につきましてご理解ご協力の程宜しくお願い申し上げます。



会長：久保田 智博（長崎労災病院） 副会長：東原 太郎（耀光リハビリテーション病院）
広報：眞浦 健人（杏林病院） 会計：加藤 友里夏（長崎労災病院）
世話人：橋本 伸太郎（佐世保中央病院） 池田 佳宏（耀光リハビリテーション病院）

障害児通所支援事業に

おける取り組み

BLUE PLANETS | 代表 | 吉村 克己

施設紹介

当施設は、令和2年3月に開設した障害児通所支援事業所です。場所は、佐世保市万津町にあり、近隣にさせば五番街や米海軍佐世保基地がある港町です。また、佐世保朝市がすぐそばにあり、いつも猫が日向ぼっこしているのどかな場所にあります。当施設のサービスとしては、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、保育所等訪問支援事業を実施しています。その他、心理アセスメントやLDの学習指導教室を行っています。スタッフはOT4名、保育士1名の計5名で、子どもたちの『もっと笑顔がみたいから』をモットーに、日々楽しく療育を行っています。

☆個別療育の様子☆



立ち上げの経緯

私は、佐世保市子ども発達センターにおいて、長年、支援を要するお子さまやご家族の支援を行ってきました。発達障害に関する医療機関への受診待ちの状況は全国的に6か月から1年待ちという状況にあり、療育的な支援を受けたいと思っても、すぐにはサービスが受けられない現状があります。お子さまにとって6か月という時間は、非常に貴重で重要な時間です。この6か月という時間を無駄にできないといった思いから事業を始めるに至りました。

こんなことやっています①

主に幼児を対象に、親子通所での約60分個別療育を行っており、それに合わせて、幼稚園や保育園への訪問支援を主として業務を進めています。その他の業務としては、心理アセスメントを行っています。知能検査などを受けたいが、予約待ちで受けることができず、やっと受けれても、すでに学年も変わっているということが多くみられるためです。必要な時期に、必要な支援を提供するために、実費にて行っています。

また、佐世保市内は成人の方が発達障害か診てほしいと思っても検査できる機関がないため、市外や県外まで受診されている現状があります。当施設では成人の方へも発達障害に関する検査を実施しています。3月の開設以来、成人の方が当施設で心理アセスメントを受け、その結果をもって精神科を受診し、診察をしてもらえるようになりました。

こんなことやっています②

発達障害の認知度が高まり、LDに関する相談も増加傾向にあります。LDはASDやADHD、DCD（発達性協調運動症）と合併することが多く、学校現場の中でもLDに関する学習指導が通常学級や支援学級において、安定して提供されているかというバラつきがあるのが現状です。当施設では福祉サービス提供時間の終了後にLDの学習指導教室を行っています。教室を利用する際には、かならずアセスメントを前提として指導を行っています。少しでも子どもたちの学習のつまづきの支えになればと考えています。

『BLUE PLANETS』の由来

青色は「希望と癒しの色」といわれています。自閉スペクトラム症をはじめとする発達障害や支援を要するお子さまとその家族にとって、心が癒され、落ち着いた生活を送ることができるように。お子さま一人ひとりが星のように輝いて、穏やかな生活を送ることができるようにとの願いを込めて。



「BLUE PLANETS」ホームページより

行政機関西彼保健所に

おける取り組み

西彼保健所 | 地域保健課 | 保健福祉班 | 廣重 次郎

施設紹介

当所は、『地域保健法』に基づき、地域住民の健康の保持及び増進を目的に、専門的・広域的サービスの拠点として設置されている行政機関で、西海市・長与町・時津町（事業によって長崎市含）を管轄しています。職員は作業療法士の他に、医師・獣医師・薬剤師・保健師・診療放射線技師・臨床検査技師・管理栄養士・社会福祉職等がいます。私が所属する地域保健課 保健福祉班では、精神保健福祉対策、母子保健対策、地域包括ケアシステムの推進を担っており、私は主に『地域包括ケアシステムの推進』を担当しています。

西彼保健所の外観



こんなことやっています

団塊の世代が75歳以上となる2025年までを目処に、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい人生を最後まで続けることができる体制（地域包括ケアシステム）の構築が市町を中心に進められています。在宅医療や介護の提供体制などは、市町の枠を超えて広域的重層的な構築が必要となることから、保健所は市町支援として、研修会や会議等を実施しています。システム構築には、市町のみならず事業所や職能団体の協力が不可欠となります。とりわけ『地域ケア会議』や『住民運営の通いの場』などへのリハ職の関与が求められていることから、安定的にリハ職を派遣できる体制整備に向けて、県が委託して実施いただいている広域支援センターとその協力施設とも連携し業務に取り組んでいます。

具体的に何をしているの？

管轄する市町担当者や職能団体の代表者の方々との調整業務が主であると思います。事業推進には関係者の生の声が重要です。そのため、積極的に情報収集し、今何をすべきか考え、教えてもらいながら事業展開しています。しかしながら事業推進には年単位で時間がかかります。当然ながら『組織』を動かすことは容易ではありません。そのためまずは自分自身がどのような人間か知ってもらい、担当者レベルでの信頼関係構築を最も大切にしています。「あなたのお願いなら断れないね」と言われる時が一番うれしい瞬間です。これからもより良い『まちづくり』に向けて誠実に対応していきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症の業務にも関わっているの？

平時の際、『感染症業務』に従事することはありませんが、昨年3月以降からは従事しています。これまでに、新型コロナウイルス感染症の関連相談、積極的疫学調査、検体採取補助、患者搬送及び車両消毒、患者や濃厚接触者の健康観察業務などに関わっています。

最後に

『リハビリのことも知っている県職員』として働く機会が多いのが実情です。保健所に作業療法士を配置する義務はありません。当時の県当局や作業療法士の先輩方の活動があって、今の自分がいると思っています。これからも西彼保健所内で必要とされる人材であり続け、長崎県庁の各行政機関に作業療法士が一人でも多く残り続けることができるように頑張りたいと思っています。



普段仕事をしている自席の写真
(コロナ禍でリモート会議が増えました)

県士会のICTツールを活用しよう

ICTとは「情報通信技術」と訳される「Information and Communication Technology」の略語で、通信技術を使って人とインターネット、人と人が繋がる技術のことを指します。

Covid-19が世に蔓延してもう1年が経過しました。活動自粛要請、緊急事態宣言などでこれまで通りの仕事やイベントが行えなくなり、多くのICTが生活に浸透しました。

その中でも他者との接触を伴わないビデオ会議ツールは飛躍的に広まりました。

長崎県作業療法士会も2020年2月からzoomアカウントを契約し、これまで多くの会議や研修会をオンライン上で実施してきました。

既にほとんどの会員の皆さんも1度はzoomやそれに類似したツールを用いた会議や研修会に参加された経験があるのではないのでしょうか。

慣れとは怖いもので、web会議が当たり前のように思っている自分がいる…。

私事ではあるが、養成校も5月の緊急事態宣言中、数多の工夫とICTスキルの向上を強いられ、その結果の副産物として全国的な臨床実習指導者講習会（web）におけるGoogle driveの利用や、2月15日からのオンライン県学会の実施に貢献できたように思います。

まだまだCovid-19の猛威が治まる見込みはなさそうです。

業務でもプライベートでもICT関連の知識やスキルアップは必要不可欠ではないのでしょうか。

このような現状で皆さんにぜひご利用していただきたい県士会ICTツールとして以下の3つがあります。

- ① zoomプロアカウント
- ② 県士会公式LINE
- ③ オープンチャット（災害リハ）



①県士会zoomの利用について

長崎県作業療法士会の会員であれば、県士会アカウントのzoomを利用することができます。このアカウントで設定されたミーティングは時間無制限（無料プランは最大30分）、最大参加人数100名。県士会関連のイベントや会議はもちろんのこと、任意団体の勉強会や会議にも利用することができます。ぜひ一度はご自身が「ホスト」としてミーティングを開催してみてくださいませんか？

利用してみたい方は利用目的、利用希望時間、申請者名を添えてjimu@nagasaki-ot.comまでご連絡ください。

zoomミーティングの最大参加可能人数は100名ですが、「聴講のみ」つまり、zoom上で直接の質疑応答を必要としない場合、YouTube Live配信を併用することで、200人でも300人でも参加することは可能です。県士会ではYouTubeアカウントも取得していますので、もしそのようなご希望があればご相談ください。

②県士会公式LINEの登録と利用について

既に情報配信ツールとして利用している県士会公式LINEですが、6月を目処に県士会の主たる情報配信ツールとして利用していきます。

登録がまだの方は「長崎県作業療法士会」での検索、またはQRコードから登録をお願いします。同僚の方で未登録の方がいらっしゃれば、ぜひ登録を勧めてください。

また現状のFネットメールマガジンのように、他団体主催研修会やSIG認定研修会などの広報案内も対応しております。配信希望内容やドキュメント等をkouhou@nagasaki-ot.comまでご連絡ください。

この公式LINEですが、県士会活動に関して質問をすることができます。質問したいことのキーワードを送信してみてください。自動応答でお答えできる範囲は直ぐに返答が返ってきます。想定外や、質問内容を上手く読み取れなかった場合は、時間を置いて事務局から返答します。

質問の仕方としては、

LINE配信やホームページ掲載などの広報関係なら「LINE配信」「ホームページ」「広報依頼」など入力してみてください。

会費や納入口座に関すること、また会員歴証明書の発行依頼方法などの事務局関連は、該当するキーワードを入力してみてください。教育局や学術局に関することも気になるキーワードを入力してみてください。多少は対応可能です。

LINEの自動応答は目的の連絡先や解決方法を提示する程度です。あらかじめご了承ください。



公式LINE登録がお済みでない方はQRコードからどうぞ



③オープンチャット（災害リハ）

昨年は想像を超えた線状降水帯の発生による各地での冠水被害や、大型台風の直撃による被害など、自然の猛威にさらされ、災害への臨機応変な対応が求められました。

これを受けて、県士会では災害時の情報共有を目的としたLINE OpenChatの運用を開始しました。県内における災害等の有事の際には、ぜひこのSNSツールを用いて各地区、各施設の被害情報を共有し、県士会として必要な支援につなげていけるものにしたいと考えています。

LINEのオープンチャットを使うメリットととして、使い慣れた「LINE」であること、スマホでのやり取りが可能なこと、途中でグループに入っても過去のコメントを読み返すことが可能なことなどが挙げられます。また、友だちになっていなくても参加できること、つまり参加者側の参加登録のみで情報共有ツールに参加できる点も、有事の際に投稿者を増やすときにはメリットとなります。

できれば県内各施設1名以上は参加協力していただけるようお願いします。

職場でどなたも登録されていない場合はQRコードから参加をお願いします。





広げよう! 作業療法

Activities of Social Life へ向けて 会場はオンライン ~どこにもつながるWeb学会~

学会長

桑原 由喜 (長崎リハビリテーション学院)

会期

Web配信期間: 2021年2月15日 (月) ~ 3月14日 (日)

この度は、COVID-19の流行拡大を受けて、WEB開催とすることとなりました。
今回のさいかい県学会ページでは、Web学会の概要や参加方法など、わかりやすく説明しています!!
このページを読んで是非みなさんWeb学会に参加しましょう!

Web学会を簡単説明!

- ✓ わざわざ会場に足を運ばなくてもパソコンやスマホ一つあれば期間内にいつでも何度でも視聴可能。
- ✓ 家事や育児などで忙しく普段は勉強会にも行けない人でも落ち着いた時間にいつでも参加可能。
- ✓ もちろんWeb学会なので感染対策ばっちり! 3密を回避できます!!
- ✓ 交通費や旅費、食事代、移動時間などあらゆるムダを削減できます。
- ✓ 学会では興味のある発表・講演があっても時間が重なり、聞けないことが多々あるが、Web学会ではその気になれば全プログラムを見ることができます!

Web学会に参加するには事前参加登録が必要です

○学会参加費および参加資格

正会員・他職種・学生: 無料

* 正会員とは長崎県作業療法士会会員または他都道府県作業療法士会会員に限りです。

* 他都道府県作業療法士会会員は日本作業療法士協会の会員であり、かつ協会と所属士会の今年度会費が納入済みである必要があります。

* 今学会は無料での開催となっております。

○事前参加受付期間

2021年1月12日 (火) ~ 2021年2月28日 (日) まで

* 学会開催期間中の2月28日まで受付を実施しますが、会員であることの確認などパスワードの配布までに時間がかかる場合がございますので、早めの参加受付へのご協力をよろしくお願いいたします。

○参加登録上の注意

講演および発表等の配信は、YouTubeの限定公開を予定しております。参加登録がお済みの方のみ、視聴に必要なパスワードをメールにて配布いたします。他者へのパスワード等の情報漏洩がないよう、ご配慮をお願いします。

講演および発表画面の撮影等はすべて禁止としておりますので、遵守頂きますようお願いいたします。

* 以上の注意事項をご確認の上、参加登録を希望される方はトップページの『参加登録の方はこちらから』ボタンをクリックし必要事項を入力の上、申し込みを完了してください。

開会式&Live配信

プログラム	配信開始日時	内容	視聴期間
開会式動画	2021年2月15日 20時	○学会長挨拶 (第27回長崎県作業療法学会 学会長 桑原 由喜) ○県士会長挨拶 (長崎県作業療法士会 会長 沖 英一) ○各委員長からの見どころ紹介	2021年2月15日~ 2021年3月14日
Live配信	2021年3月14日 13時	○特別講演: ICT を用いた遠隔地教育の可能性~作業療法士の新たな学び方 (平城 修吾) ○優秀演題発表・表彰: 2演題発表 ○シンポジウム: [太鼓との出会い、社会への広がり] 夢大使の講話/太鼓演奏 (社会福祉法人 南高愛隣会 障がい者長崎打楽団 瑞宝太鼓)	2021年3月15日~ 2021年3月31日

講演プログラム

講演演目	テーマ	講師	配信方法	視聴期間
特別講演 1	医療・介護からもっと広い視野をもとう ～パラスポーツと作業療法	本山 幸子 (一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟・ 常務理事 技術副委員長)	動画配信	2021年2月15日～ 2021年3月14日
特別講演 2	ICTを用いた遠隔地教育の可能性 ～作業療法士の新たな学び方～	平城 修吾 (大島保養院 吉備国際大学大学院 (通信制) 保健科学研究科作業療法学専攻 修士課程)	Live配信	2021年3月15日～ 2021年3月31日
教育講演 (身障)	半側空間無視の理解と介入	松尾 崇史 (熊本保健科学大学/講師)	動画配信	2021年2月15日～ 2021年3月14日
教育講演 (精神)	依存症へ対する作業療法	佐藤 嘉孝 (地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター)	動画配信	2021年2月15日～ 2021年3月14日
教育講演 (発達)	CO-OP approach (コアップアプローチ)	塩津 裕康 (中部大学/助教)	動画配信	2021年2月15日～ 2021年3月14日
教育講演 (老年)	Evidence Basedで考える 認知症リハビリテーション	田中 寛之 (大阪府立大学/講師)	動画配信	2021年2月15日～ 2021年3月14日
教育講演 (学術)	これからもとめられる 作業療法士による研究活動	東 登志夫 (長崎大学/教授)	動画配信	2021年2月15日～ 2021年3月14日

質疑応答について

本学会では、掲示板サイト【zawazawa】を用いて質疑応答を行います。
質問される方、および講師、演者の方は、必ず質疑応答の掲示板に入り、「登録」(ログイン)を行ってください。
登録名は、必ず「所属」と「氏名」を登録してください。
例) 長崎〇〇病院/長崎太郎
登録なしでも掲示板の閲覧のみは可能です。質問・回答の書き込みは登録者でなければできません。
質疑応答期間は、2月15日(月)～3月14日(日)です。3月15日以降の質疑応答はできませんのでご注意下さい。
閲覧は3月31日(水)まで可能です。
○質問者の方への注意
マナーに心がけて質疑応答を行ってください。一度に多くの質問をする、既に説明のあった内容を質問する、不適切な表現を用いる等の
質疑応答はお控えください。
講師、演者によって回答までの時間が異なることをご承知ください。
学会期間終了間際の質問には期間内に回答されない可能性がありますので、質問はできる限り早い時期にお願いいたします。
「録画配信」への質問期間は3月14日(日)までです。
「Live配信」への質疑応答は、当日のみリアルタイムにて可能です。ご質問頂いた内容を、可能な範囲で司会より講師へ質問いたします。

PR活動

今回の学会でPR活動という新しい企画を立ち上げさせて頂きました。
長崎は小ささまざまな島から成り、僻地、遠隔地など物理的に離れているというデメリットがあります。Web学会のメリットは、どこからでも参加できるという点です！COVID-19の影響で学会のオンライン化を余儀なくされましたが、ピンチをチャンスに変えることもできると思います。
PR活動では、“長崎のOTを知り、長崎のOTがつながる”ことを目的としています。自分たちの勤務する地区の他の病院・施設の動向を知ることで、目の前の対象者に対してより良い支援の選択肢が増える可能性があります。また、長崎全体の病院・施設が連携できれば、長崎県の作業療法士のレベルアップにもつながるかもしれません。
長崎県の会員数が増えている今、もう一度情報を共有することは大切なことかもしれません。
ぜひ学会に参加してPR活動を覗いてみてください！

PR活動参加数〇件

企画に賛同して頂き、ご参加頂いた病院・施設に感謝申し上げます。

学会instagram

今回、学会公式instagramを立ち上げています！
Instagramでは、学会の情報を随時配信していますが、多少のおしゃれさも追求しております。笑
一番注目して欲しいのは、裏方である実行委員の頑張りや苦悩も伝えさせて頂いていることです！長崎県士会初のWeb学会を開催するまでにどれだけかの苦労があったか会員の方にも是非知ってもらいたいです！！
まだ計画段階ですが、3月14日のLive配信では、実行委員の頑張りやinstagramで裏側からLive配信できればと企んでいます！！
ぜひぜひ、フォローよろしくお願ひします！！

アカウント名：27nagasakiotgakkai



学会全般に関するお問い合わせ

第27回長崎県作業療法学会 事務局 長 中嶋 康貴 (池田病院 島原市湖南町6893-2)
E-mail : info-gakkai27@nagasaki-ot.com

子どもの地域生活支援委員会について

長崎県作業療法士会では、2019年度から2021年度までの3年間、『子どもの地域生活支援委員会』を特設委員会として設置しています。

【設置までの経緯】

- ①発達障害児の対応に悩み、学童保育の現場から作業療法士の支援を求める声があった。
- ②発達障害児の診断に必要な受診が増加することが予測されますが、長崎県内で受診の増加に対し受け入れできる医療機関は限られており、初診後から評価・診断を経て支援開始までに6ヶ月以上を要す状況が続いていること。また、診断を受けた後に適切な支援ができる医療・福祉機関が不足している状況がある。

上記のニーズをふまえ、「学童保育へ適切な支援ができる作業療法士の人材育成や学童保育への訪問支援が実施できる体制を整備すること」「身近な地域の医療・福祉機関へ、早期に必要な支援に結びつくとすることができる体制を整備すること」を目的に、『子どもの地域生活支援委員会』を設置しました。

【活動内容】

- ①学童保育や発達障害児に関する現状及び課題、支援ニーズの把握
- ②長崎県学童保育連絡協議会と連携し、学童保育への訪問支援やオンライン相談
- ③研修会の開催

→2020年10月にオンラインで開催した、学童保育の作業療法に関する研修会の動画を講師のご厚意で、会員限定で公開しております。ご興味のある方は長崎県作業療法士会ホームページ (<http://www.nagasaki-ot.com>) の会員専用ページからご覧ください。



長崎の子ども達のためになる委員会として活動していきます。

編集後記

みなさん、あけましておめでとうございます！今年もよろしくお祈りします！
県内でも新型コロナウイルスの感染が拡大する中、各施設でも感染拡大防止にご尽力されているかと思えます。また、感染に不安を抱きながら生活をされていることとお察しします。不安な気持ちに負けず、それぞれの立場で今できることを行っていきましょう！

さて、今回のさいかい109号はいかがでしたか？

広報局委員のページ編集能力がどんどん上がっているような気がします。

2月15日～3月14日まで県学会がWebで開催されます。わざわざ会場に足を運ばなくてもスマホ一つあれば期間内にいつでも何度でも視聴可能となっています。Web学会なので「3密」を回避でき、交通費・移動時間もかかりません！是非ご参加くださいね～！



2021年 雲仙普賢岳



宮崎病院： 原 修平 池田結花
哲翁病院： 林田万由